

企業開示や投資家との対話は どのように変化したのか、 そして、どのように 進化していくべきなのか

～可視化から価値化に向けて～

日本の資本市場に大きな影響を与えた伊藤レポートの公表から10年が経ちました。ポジティブな変化がみられた一方、いまだ企業の開示の質や投資家との対話についての課題は残されています。統合報告書もこの10年で発行企業数が約8倍となり、その成果も認められていますが、さらなる活用も期待されます。コーポレートガバナンス改革と同様、統合報告書も「開示」から「実践」へ進化してもよいのではないのでしょうか。企業価値を表現するためのツールから、企業価値を高めるためのツールと進化するために、企業と投資家の双方が統合報告書をどう活用すべきか、企業と投資家の対話はどうあるべきか、課題認識の共有や企業の実践例を交えて議論を深めます。

開催日時 2024年12月20日(金) 10:00-12:00

開催形式 オンライン(Zoom)

募集人数 400名

参加費 無料

対象 上場企業のIR、広報、サステナビリティ、経営企画、経理・財務部門ご担当者

参加登録フォーム



https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_FrDy-hvISC6vsE3l5LB-0g

※参加登録締切: 12月19日15:00

※参加登録者の方に向けたアーカイブ配信を期間限定で予定しています。

お問い合わせ先 株式会社エッジ・インターナショナル セミナー事務局
MAIL: seminar_info@edge-intl.co.jp

開会挨拶 (5分)	10:00-10:05	株式会社エッジ・インターナショナル 代表取締役社長 麻生 佳孝
講演 (10分)	10:05-10:15	「次の10年に向けて—統合報告の10年を振り返る」 株式会社エッジ・インターナショナル 常務執行役員 株式会社コンサイス・レポートイング 代表取締役社長 黒原 哲也
ショートプレゼン & パネル ディスカッション (105分)	10:15-12:00	「企業・投資家が考える 『企業価値を高める統合報告書・対話』とは」 ここ10年のコーポレートガバナンス改革における開示と対話の進化について振り返り、解決すべき課題を明らかにします。また、先進企業や投資家がどのように向き合っているのか、実践例を交えながら議論します。 りそなアセットマネジメント株式会社 チーフ・サステナビリティ・オフィサー 常務執行役員責任投資部担当 松原 稔氏 キャピタル・インターナショナル株式会社 ESGスチュワードシップマネジャー ESGグローバルスチュワードシップ&エンゲージメント 藤木 彩氏 日本郵船株式会社 ESG経営グループ ESGコミュニケーションチーム長 鈴木 雄一氏

※プログラムは予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

登壇者プロフィール

松原 稔氏

りそなアセットマネジメント株式会社 チーフ・サステナビリティ・オフィサー 常務執行役員責任投資部担当

1991年にりそな銀行に入行し、投資開発室および公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部、アセットマネジメント部で運用管理、企画、責任投資を担当。2020年1月にりそなアセットマネジメント責任投資部長に就任し、2023年8月より現職。経済産業省「サステナブルな企業価値創造のための長期経営・長期投資に資する対話研究会(SX研究会)」委員、日本国際博覧会協会「持続可能性有識者委員会」委員なども務める。

藤木 彩氏

キャピタル・インターナショナル株式会社 ESGスチュワードシップマネジャー ESGグローバルスチュワードシップ&エンゲージメント

2022年に米国キャピタル・グループ(1931年に創業した世界有数の資産運用会社。株式・債券のアクティブ運用に特化した独自の運用プロセスで知られる)の日本法人であるキャピタル・インターナショナルに入社し、アジア太平洋地域のスチュワードシップ業務を担当。同社入社以前は、ブラックロック・ジャパンにてインベストメント・スチュワードシップ部ディレクターとして日本企業に対する議決権行使およびエンゲージメント(対話)を中心にスチュワードシップ業務に従事。日本証券アナリスト協会検定会員。東京オフィス在籍。

鈴木 雄一氏

日本郵船株式会社 ESG経営グループ ESGコミュニケーションチーム長

2000年日本郵船入社。一般消費財輸送に関わる事業部門を中心に営業・事業管理を担当。シンガポール、インドネシア駐在を経て、広報グループでメディア対応業務に従事。2023年10月より現職。

黒原 哲也

株式会社エッジ・インターナショナル 常務執行役員
株式会社コンサイス・レポートイング 代表取締役社長

京大法学部卒業後、2002年に東海旅客鉄道株式会社に入社。現場研修を経て、東海鉄道事業本部経理課に配属。2004年に財務部管理課に異動し、有価証券報告書作成業務に携わり、IRの基礎を学ぶ。2006年、当社に入社。アニュアルレポート、統合報告書をはじめとしたIRツールの企画・編集・原稿作成業務などに従事し、2021年に執行役員に就任、当社の営業統括を担う。2023年、株式会社コンサイス・レポートイングを設立。同社の代表取締役社長を務める。